

【工業：機械科】

平成 2 5 年度 指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

科 目	機械実習	単位数	3	学科・学年	機械科 2 年	担当者	機械科			
使用教科書	なし			副教材	機械実習 I、II					
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】）							評価の重点			
<p>各作業を通して安全作業に対する態度、習慣を身につける。 工業に関する基礎的な知識、技能を深める。 ・ 4 班編成（1 班 1 0 名）で、7 週のローテーションで行う。 ・ 旋盤、特機（フライス盤、形削盤 etc）、溶接、鋳造、C A D の基本的な作業を習得させる。 ・ 報告書の提出により、作業内容の深化を図る。</p>							関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	実習名（班別）	主な学習活動・評価のポイント		評価方法					
前 期	4	1 班 旋盤作業	1 班 段付き丸棒の製作		報告書の提出				○	○
		2 班 特殊機械作業	2 班 溝付きフライス加工		出席状況		○			
	5	3 班 鋳造・溶接作業	3 班 鋳造の基本操作 （ブロックの製作）		作業態度		○	○	○	
		4 班 C A D 作業	4 班 3 D C A D の基本操作		製品の完成度				○	
	6	各班 7 週間交代	安全作業への配慮はあるか 基本操作ができるか 報告書のまとめ方が適切か							
	7									
後 期	8									
	9									
	9	上記と同じ内容			上記と評価方法同じ					
	1 0									
	1 1									
	1 2									
	1									
2										
3										

【工業：機械科】

平成 2 5 年度 指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

科 目	機械実習	単位数	3	学科・学年	機械科 3 年	担当者	機械科			
使用教科書	なし			副教材	機械実習 I、II					
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】）							評価の重点			
<p>各作業を通して安全作業に対する態度、習慣を身につける。 各種実験・実習における基本作業を習得する。 ・4班編成（1班10名）で、前半4週、後半3週のローテーションで行う。 ・旋盤、原動機、計測、PC制御、流体実験の基本的な作業を習得させる。 ・報告書の提出により、作業内容の深化を図る。</p>							関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	実習名（班別）	主な学習活動・評価のポイント		評価方法					
前 期	4	前半 1班 旋盤作業	1班 電動ウィンチの製作		報告書の提出 出席状況 作業態度		○		○	○
	5	2班 熱機関実習	2班 エンジンの分解組立 エンジンの性能試験		製品の完成度		○	○	○	○
		3班 流体実験	3班 三角堰による流量実験 各種水車の性能試験						○	
	6	4班 MC実習 各班4週間交代	4班 MCプログラミング I							
	7		安全作業への配慮はあるか 基本操作ができるか 報告書のまとめ方が適切か							
	8									
後 期	9	後半			上記と評価方法同じ					
	10	1班 旋盤作業	1班 電動ウィンチの製作							
		2班 計測実験	2班 誤差の計算と材料実験							
	11	3班 PLC実習	3班 基本回路の組み立て							
		4班 MC実習 各班3週間交代	4班 MCプログラミング II							
	12		安全作業への配慮はあるか 基本操作ができるか 報告書のまとめ方が適切か							
	1									
2										
3										